

認知症になっても

普通に生活できる地域づくりをめざす

若年性認知症を支える活動 が身近な地域で始まりました

本会は、本拠地である中野区、交流会会場のある杉並区周辺を中心とした城西エリアで、地域に根ざした交流会活動をおこなっています。

地域密着の活動ならではの強みを活かして、顔の見える関係の中で理解の輪を広げていき、当事者と周囲の人たちの距離を縮め、認知症になっても普通に生活できる、支えあえる地域づくりをめざし活動を続けています。

中野、杉並周辺 のみなさん
気軽に集まり、仲間と出会い、
気分を転換、笑顔で帰る、そんな
雰囲気のある場です。



本会では『中野区区民公益活動に関する政策助成』による助成を受けて交流会を実施しています。

交流会のご案内

- ◇毎月第2土曜日午後交流会
- ◇みんなと旅行でリフレッシュ

- 会場は「マイルドハート高円寺」の地域交流スペース
(杉並区高円寺北1-28-1)
中野駅北口から徒歩10分。中野四季の森公園の西側にある介護・障害者施設。
- 時間帯は、午後2時から5時
- 交流会参加費500円(誕生会等に活用)
年会費3,000円(家族会員)入会金なし
見学随時。参加当初は入会不要です。



特定非営利活動法人
若年認知症交流会小さな旅人たちの会

〒165-0034 東京都中野区大和町3-2-11
TEL 03-3338-6932 / FAX 020-4663-8869

特定非営利活動法人
若年認知症交流会
小さな旅人たちの会
(ちいたび会)



ちいたび会

メール honbu@chiitabi.jp
ホームページ http://chiitabi.jp/

■若年性認知症ということ

認知症は高齢者に多い病気ですが、年齢が若くても発症することがあり、65歳未満で発症した場合を「若年性認知症」（若年認知症）と言います。

若年性認知症では、若年期の発症ならではの困難な壁に突き当たる場面が多くあります。それは、体力ある本人の看病の困難さであったり、社会の理解不足や公的支援制度の不足、働き盛りの発症による経済的苦境、あるいは、若い子どもの存在、親族からの冷たい目であったりと様々です。

厚生労働省の調べでは推定約3万8,000人という国内の若年性認知症患者数ですが、中野区の人口30万人に当てはめると約100人となります。認知症傾向のある高齢者数約5,500人と比較すれば少数派の存在です。そのため、どうしても公的支援のしくみからは抜け落ちてしまいがちです。

だからこそ、公的支援充実の働きかけに加え、地域の理解と、顔の見える結びつきの中での活動が必要なのだと私たちは考えています。

お気軽にご参加を
そして多くの応援を

■交流会参加のお誘い

どうすればいいのだろうと悩んだ時に、病気のことをわかっている人と話せば、どんなに心強いことか。でも頼れる人に出会う機会が少ないことが、若年性認知症の悩みの一つ。

ここには、経験者、そして、現在進行形で係っている本人・家族のみなさんがいます。そして、専門医、医療専門職、介護専門職、支援者たちがいて応援してくれます。

「小さな旅人たち」

大きな地球と時の流れに比べたら、私はほんとにちっぽけで、あつという間の存在だけど、私の人生という小さな旅、あなたと、みんなと、歩きたい



※中野区、杉並区以外の地域にお住まいの方も参加しています。また、65歳以上の方も参加いただけます。ご不明な点はお気軽にご相談ください。

■活動の柱

(1) 若年性認知症交流会事業

○月例交流会（毎月第2土曜日）

お互いに話し合える時間を基本としながら、医療介護の専門職を交えた相談・情報収集機会、お楽しみイベントなどを行います。

本人と家族、あるいは家族のみの参加、どちらでも結構です。本人同伴の場合にはサポーターがお手伝いしますので、家族は、本人のことを心配せず情報交換の場に参加することができます。※会場などは裏面参照

○サロン、認知症カフェ（第1、第3土曜日）

ちいたび会事務所(大和町)にて開催中

(2) 旅行支援（旅行を通じた心の余裕づくり）

旅先でのトイレや入浴のことなどを考えると夫婦、家族だけではだんだんと難しくなる「旅」の実現をお手伝いします。

(3) 若年性認知症電話相談「ちーたーコール」

ダイヤル 03-3338-6932

お気軽に電話を 第1土曜日 介護家族対応
なお、お問い合わせは随時受け付けています。

